

実践編 I) 信仰生活の原則 P70~81

I) 神を信じて救われた後、クリスマンとして成長していくことを考えたことがありますか? あなたは成長したいですか?

II) P71~81 まで読んで、クリスマンとして成長するために必要な 7 つの習慣で、自分が一番難しく感じるものは何ですか?

III) どうしたら習慣化できるか考えてみましょう。

【復習タイム or 学びながら空欄を埋めていきましょう】

・聖書は神の「」です。「」読みましょう。分からないところを飛ばして、ひとまず聖書を「」読んでみましょう。「」などで学ぶことも良いですが、「」にどのように語っておられるか思い巡らすことが大事です。P71,72

・祈りは神と人間の「」です。まず「」と呼びかけ、神をほめたたえ、神からの恵みに「」し、「」を悔い改めたり、「」を言ったり、他者の為の「」をしたりして、最後に「主イエス・キリストのお名前によって祈ります」と結びます。聖霊によって祈り、「」でも祈りましょう。P73~75

・礼拝はクリスマンが集まって神を「」し、「」をいただき、祈り、献金する大事な時です。休まず、「」しないで行きましょう。「」など諸集会にもできるだけ出席しましょう。P75,76

・奉仕は教会を形成し自分の信仰を「」させます。教会はあなたの奉仕を「」としています。それは「」や強いられて行うものでなく、「」をいただくものです。P76,77

・クリスマン同士の交わりはお互いを成長させます。互いに「」合い、「」を高め、救われたこと、「」の恵みや感謝を語り合しましょう。P77,78

・誰かに伝道することはキリストから与えられた「」です。「」に誘ったり、自分の救いの「」や、主イエスの「」を語っていきましょう。P78,79

・私たちは誰かの献金によって救われました。「」の為に、教会の維持運営のために、感謝と喜びを持って捧げましょう。「」献金、「」献金、「」献金、「」献金、「」献金などがあります。P79,80

【お祈り】

天の神様、7つの習慣を身につけて私の信仰を成長させてください。御名によって。

実践編 II) 教会生活・信仰生活(1) P82~100

教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞くのも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

I) あなたには教会生活を送っている中で問題が生じたとき、相談したり、祈ってくれる人がいますか?

II) P82~93まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか?

III) 関連して新しく湧いた疑問や、もう少し訪ねてみたいことが何かありますか?

IV) 一人が質問者、一人が答える一役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイを試みましょう。

【復習タイム】

・洗礼は「」の表明ですから受けるべきです。「」などで学びましょう。P82,83

・洗礼を家族に反対されたら理由を聞き、「」は避けて、受けたいことを穏やかに話しましょう。信教の「」が法律にあるので、洗礼は自分で決められますが、家族と悪い関係にならないように気を付けましょう。P83,84

・礼拝に出席できない時は牧師に知らせ、他の「」や曜日、ネットなどを利用して礼拝できるように工夫しましょう。P84,85

・遅刻は一つになっている参加者の礼拝への心をそらしてしまうかもしれません。しないように気を付け「」分前には教会に着いていましょう。また遅刻される方は事情があるかもしれないので祈りましょう。P85,86

・日曜日が休みでないクラブ活動や仕事を選ぶときは、それが神様の御心かどうかをまず祈りましょう。また礼拝を守る工夫をし、クリスマンとの「」も行えるようにしましょう。P86,87

・奉仕は強いられてではなく、「」をもって行いましょう。頼まれたらやってみることも大切ですし、きちんと引き次いで止めることも可能です。教会員になったばかりの人が奉仕を行い過ぎたり、「」より奉仕に重点が置かれそうなら断ることも出来ます。P87,88

・自分にもできる奉仕は必ずあります。「」が何か見つけていきましょう。P88,89

・礼拝だけでなく交わりも大切です。礼拝後少し残ったり、平日やルールを守って「」などを利用して、良い交わりを持ちましょう。P89,90

・どうしても苦手な人が出来てしまったら、まず祈って、「」は工夫しても休まないようにしましょう。P90,91

・教会の信徒グループは交わり(お互いの成長)と「」の為に大事な活動です。グループに属することに抵抗があるならば、その理由を見つめ、問題の解決を図りましょう。P91,92

・集会以外にも教会に来て良いかは教会によって違いますので牧師に気軽に聞いてみましょう。自由に来れる教会でも牧師の働きの「」にはならないように気を付けましょう。P92,93

【お祈り】

天の神様、教会生活の中でいろいろな疑問や悩みが出てきても、祈って乗り越えて行けますように。助け手となってくれる先生や兄弟がいることを感謝します。御名によってお祈りします。アーメン。

実践編 II) 教会生活・信仰生活(2) P82~100

教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞くのも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

I) あなたにとって献金はどのようなイメージがありますか？

II) P93~100まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

III) 関連して新しく湧いた疑問や、もう少し訪ねてみたいことが何かありますか？

IV) 一人が質問者、一人が答える一役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイをしてみよう。

【復習タイム】

・献金は自由で「」的なものではありませんが、教会の活動費は必要です。「」に対して行っていると確信して自分で決めて行いましょう。P93,94

・十分の一献金をするのが難しい時は、自分の「」が守られることを祈りましょう。そして牧師にも話して祈って戴きましょう。P94

・十分の一献金は額面か手取りかと考えるより、信仰により、感謝と「」の視点で考えましょう。P94,95

・経済的に厳しくても、献金することは良いことですが、神が私たちの経済を見過ごされないと信じると共に、「」を大切にし、それをどのように使うか考えましょう。P95,96

・なかなか祈れないと思う人は「」をするように祈りましょう。御言葉に応答したり、「」をもって祈ったり、黙って主の前に出るだけでも祈りになっているのです。P96,97

・聖霊の「」は求めましょう。でも異言にこだわらず、神をたたえ、「」し、とりなしの祈りをし、祈り込んでみましょう。そして聖霊に委ねていきましょう。P97,98

・経済的に厳しくてもできる限り「」はせず、どうしてもしなければならないときは安全な所(公的機関)から借り、信徒間ではしないようにしましょう。もし行うなら「」などを用意し、トラブルにならないようにしましょう。P98,99

・教会で個人的に何かを販売するのは難しいでしょう。お金に関わることは「」にすべきです。P100

【お祈り】

天の神様、救われて献金のできる者となれたことを感謝します。喜びをもって捧げ、喜びをもって祈れますように。どうぞ私たちを豊かにしてください。御名によってお祈りします。アーメン。

実践編 Ⅲ) 恋愛・結婚 P102~108

恋愛、結婚は当事者二人の問題と考えがちですが、神が合わせてくれたものであり、牧師によく相談して祈ってもらいましょう。

I) あなたはキリスト教とそうでない結婚式に出席したことがありますか? どんな違いと感想を持っていますか?

II) これから結婚する人や結婚する子どもや孫をもっている人は、キリスト教で結婚式を挙げたいと強く願いますか?

III) なぜ離婚になるのだと思いますか?

IV) 離婚しない秘訣、幸せな結婚をする秘訣は何だと思いますか?

【復習タイム】

・好きな人が出来たら早めに牧師に相談し、「」を紹介してもらって二人で読み、正しい交際をしましょう。デートで「」的な負担をかけないようにし、帰りも遅くならないようにしましょう。P102,103

・未信者の人と交際していたら、キリストを信じるように伝道し、礼拝に出席してもらって、牧師とも会って親しくなってもらいましょう。信仰の一致は「」の一致です。P103,

・結婚を決めたら相手が未信者でもキリスト教で式を挙げ、牧師が「」をするように求めましょう。式までの流れを牧師から教わり、「」を受けましょう。結婚式で神の前に「」をすることはとても重要なことです。結婚後のことも牧師と話し合ひましょう。P104,105

・結婚式についてですが、式は神への誓約が中心で大きな違いはありません。でも「」は有無や規模の大きさ、場所、費用など個人差があります。「」の意向も含め、二人でよく話し合って決めましょう。教会に「」があるかを確認し、結婚感謝献金や、司式者、奏楽者などへのお礼も考えておきましょう。P106,107

・離婚は良くないですが、事情によってさまざまな判断がなされる問題です。何度でも時間をかけて牧師や信仰の先輩に相談し、祈りましょう。多くの「」が伴うので軽く考えてはならないことです。P107,108

・離婚は「」です。でもキリストの赦しがあります。真摯に祈り、悔い改め、相手に誠意を尽くす者でありましょう。P108

【お祈り】

天の神様、結婚式において神の前で誓約できることを感謝します。神が合わせてくださったと確信を持って、それぞれの家族が祝福されますように。主の御名によって祈ります。アーメン。

実践編 IV) 家庭 P110~116

I) あなたの家はクリスマンホームですか? クリスマンホームになることを願いますか?

II) あなたはどんなクリスマンホームを築きたいですか?

III) P110~116 まで読んで、自分が今、一番力を注ぎたいものは何でしたか? その為に具体的に行おうと思ったことがありますか?

IV) 家庭について質問や悩みがあったら、(言える範囲で)お話しください。

【復習タイム】

・クリスマンホームはクリスマン夫婦でできますが、その家庭にいつもキリストがおられるということです。「」やディボーション、祈りを家庭で行い、子どもが与えられたら「」になるよう育てましょう。家族そろって教会の「」を捧げることは素晴らしいことです。P110,111

・クリスマン夫婦であっても意見が合わないことはありますが、伴侶の意見、伴侶そのものを「」する姿勢をいつも大事にしましょう。P111,112

・聖書的な子育てとは、神を「」する子に育てることです。その為に夫婦が「」を愛し、「」に愛し合っていることを子どもに見せましょう。教会学校などでも御言葉を他の大人から教えられことが大事であり、子どもがやがて「」で礼拝に出席し自立した信仰者になるよう育てましょう。P112,113

・献児式とは、子の心身の健康と霊的「」を祈っていただき、親が神から託された子として育てていく「」を表す式です。P113,114

・子どもが礼拝中静かに出来なくても「」をもって対応しましょう。子どもは大切な「」者、神の子どもです。子どもに対してビジョンをもっていきましょう。P114,115

・家族の救いは、神のみこころですので、救われることを信じて祈り、愛をもって接し、「」しましょう。P115,116

【お祈り】

天の神様、神様がまだ信仰を持っていない私たちの家族を救ってください、素晴らしいクリスマンホームを築けますようお願い致します。御名によって祈ります。アーメン。

実践編 V) 仕事 P118~122

- I) あなたは職場で、どの位神のことを思い出しますか？
- II) あなたがクリスマンであることを、職場のどの程度の人々が知っていますか？
- III) あなたは職場で証しや伝道ができますか？ 言葉で言えないけれども何かで信仰を表していることがありますか？
- IV) 仕事について質問や悩みがあったらお話してください。

【復習タイム】

・仕事を選ぶときは、出来るなら「」が守れ、「」が与えて下さったと確信でき、それによって主のために働いている実感があるものを祈って選びましょう。

P118,119

・転勤がある場合は、牧師とよく相談し転勤先で出席する教会を決めましょう。「」や「」をどうするかも相談しましょう。P119

・仕事で礼拝に出席できない場合はどこかで礼拝の時を持ち、「」は聞くように心がけましょう。P119,120

・職場で神棚参拝や地鎮祭などを行わなければならない時は、他の方のなさることを「」しないで、「私はクリスマンなので自分なりの祈り方でさせていただきたい」と言えると良いかもしれません。偶像礼拝をしないでいられるよう、神の守りを祈りましょう。P120,121

・仕事上お酒を勧められたら、「」に断り、酒によらない楽しい付き合いをしていくことが大切です。P121

・職場の人間関係が上手くいなくても、「」ことを実践し、その方の救いと「」を祈りましょう。うわさ話、「」、悪口などの仲間には入らず、聞いても「」しないようにしましょう。P121,122

【お祈り】

天の神様、神様が職場の中の色々な事柄の内にも働いて下さることを感謝します。世の中に流されないで、クリスマンとして、良い影響を与えられますように。アーメン。

実践編 VI) 葬儀・墓 P124~128

- I) あなたはキリスト教の葬儀に出席したことがありますか? どのようなことが心に残りましたか?
- II) あなたは仏教の葬儀に参列した時、クリスマンとしてどのように臨んだら良いか知っていましたか? 分からないことがありますか?
- III) あなたは遺言状を書いて、同じものを家族と牧師に渡してありますか?
- IV) 葬儀や墓について質問や問題があったらお話しください。

【復習タイム】

・仏教の葬儀に参列する時は、「」をせず、焼香台の所で、ご遺族の慰めを天地創造の神に祈りましょう。葬儀ではできる限り「」をするのが良いでしょう。

P124,125

・クリスマンになって檀家を止めたい場合は寺に、墓を処分する場合は「」に相談し、手続きをしましょう。キリスト教の葬儀では「」の墓地に埋葬できないこともあります。前もって調べておきましょう。P125,126

・未信者の家族の方でも亡くなった時は、「」で葬儀をしていただけるよう、他の家族や親戚に了解を得ましょう。牧師とすぐ相談して式場や葬儀社の手配をしましょう。

P126

・キリスト教では「〇回忌」というものではなく、「」という呼び名で自由に行うことができます。未信者の親族に配慮して記念会を行うことも大切です。P127

・家族が未信者の方は、自分が亡くなったらキリスト教で葬儀をし、「」として牧師を希望することを「」に書き、家族と牧師に預けておくと良いでしょう。

P127,128

【お祈り】

天の神様、自分が天に召された時に、葬儀を通して証・伝道ができることを感謝します。自分が葬儀に参列する時も、正しいふるまいをしてあなたを悲しませることがありませんように…。復活の主へ感謝して、御名によって祈ります。アーメン。

実践編 VII) 教会間のことで・ VIII) その他 P130~138

- I) あなたの教会の良い所はどこですか? 他の教会に行ってみたいと思うことはありますか?
- II) 他の教会のクリスマンの友人を持っていますか? 良い点、あるいは気を付けた方が良いことなど感じたことがありますか?
- III) まだ行っていないが、牧師に話しておいた方が良いと思っっていることがありますか?
- IV) キリスト教についてどんなことでも疑問や質問があったらお話してください。

【復習タイム】

- ・教会を移りたいときは牧師に相談しましょう。手続きとしては「」になります。仕事などの理由でなく、教会を転々とするのは良くはありません。P130,131
- ・他教団、他教派に移りたいときは牧師によく話をし、理解の上、転籍の手続きに入るようにすべきです。「」の違いをよく調べておきましょう。P131,132
- ・出張や旅行で他の教会の礼拝に出席したいときは、牧師に連絡し指示を受けると共に、自分の教会の特別な「」にぶつからないようにしましょう。他の教会のイベントに出席したいときも牧師とよく相談し、その教会の「」にならないようにしましょう。P132
- ・他の教会の信徒と交流を持ちたいときは母教会と相手の教会の牧師の「」を得ましょう。やり取りは神の前に出せるものであるべきです。クリスマンの良い友人となりましょう。P133
- ・教会で体調が悪くなったりしたときの為に、自宅や連絡先、かかりつけの病院や大事な「」など牧師に伝えておきましょう。P134
- ・心の病があつて、伝道、奉仕、交わりが難しい時は、牧師に自分の状況を説明して、「」ところから行ったら良いでしょう。まずは病の回復を第一にしましょう。P135,136
- ・教会では「」活動は控えましょう。P136
- ・病気になったとしても、神は見放したりしません。癒しを神に祈りましょう。休息が必要なのかもしれません。病の中でも神の臨在を覚えたり、他の病人のとりなしの祈りをしたり、看病して下さる方々への「」と祝福を祈りましょう。P137,138

【お祈り】

天の神様、神様がこの教会に導いて下さったことを感謝します。何でも牧師先生に相談し、信仰の先輩である良い兄弟を見習い、互いに祈り合つて、恵み豊かな信仰者になつてください。アーメン。